

**オンデマンド交通社会実験  
「チョイソコふくおかエリア③中央区・城南区」  
分析等について**

**【概要版】**

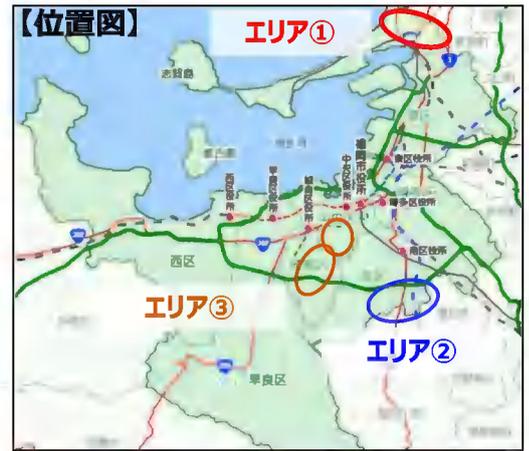
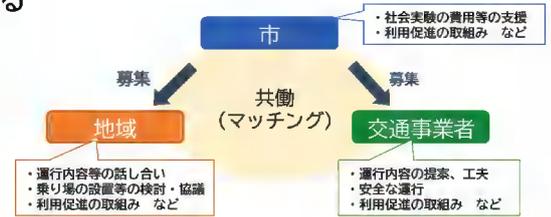
# オンデマンド交通社会実験

## ■ 概要

○ 高齢化の進展等に伴い、公共交通が不便な地域における買い物や通院などの生活交通確保が課題となる中、持続可能な生活交通確保の仕組みづくりに取り組んでいく必要があり、取組みの一つとして、令和4年度より、オンデマンド交通を活用した社会実験を実施している

○ 市と共働で運行内容の検討や利用促進等に主体的に取り組む地域・交通事業者をそれぞれ募集のうえ決定、市内3エリアで社会実験に取り組んでいる

○ 各エリアにおいて、地域・交通事業者・市による運行協議会を設置し、運行内容や利用促進等の協議・検討に取り組んでおり、令和4年11月（エリア①東区）から、順次、運行を開始しており、三者共働で、取組みを進めている



# オンデマンド交通社会実験

## ■ スケジュール

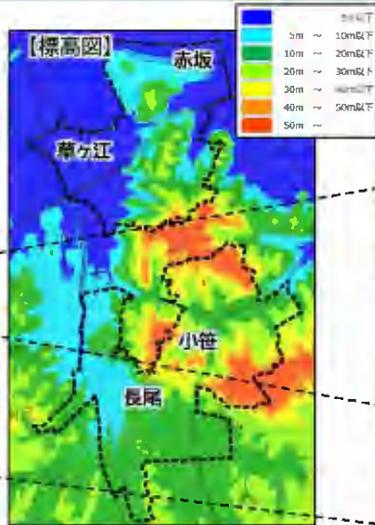
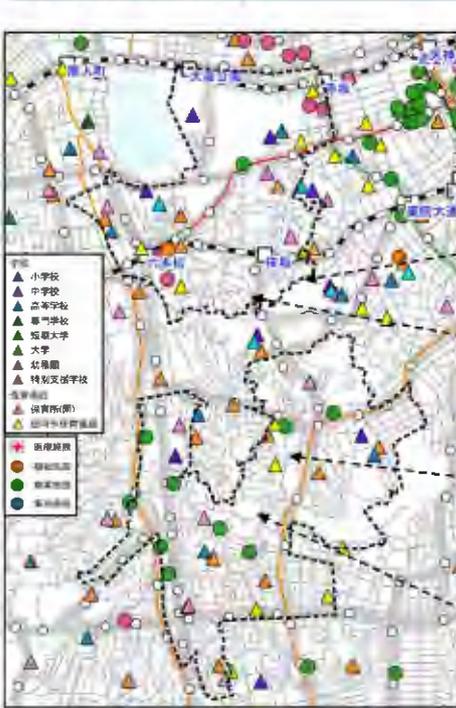
	R4 ~9月	~12月	R5 ~3月	~6月	~9月	~12月	R6 ~3月	~6月	~12月	R7 1月~						
エリア①	9/20 地域公共交通会議 (取組状況) 運行協議会	10/7 地域公共交通会議 (①運行計画・②③取組状況) 運行協議会	11/24 運行開始	12/13 地域公共交通会議 (②運行計画・①③取組状況) 運行協議会	12/20 地域公共交通会議 (③運行計画・①②取組状況) 運行協議会	1/4 地域公共交通会議 (①②③取組状況) 運行協議会	10/17 地域公共交通会議 (①取組分析等・②③取組状況) 運行協議会	11/24 運行2年目	12/25 地域公共交通会議 (②取組分析等・①③取組状況) 運行協議会	2/26 地域公共交通会議 (①運行計画・②③取組状況) 運行協議会	5/20 地域公共交通会議 (③取組分析等・②運行計画) 運行協議会	10/21 地域公共交通会議 (①取組分析等・②③取組状況) 運行協議会	11/24 運行3年目	12/24 地域公共交通会議 (②取組分析等・①③取組状況) 運行協議会	1/31 運行3年目	5/26 地域公共交通会議 (③取組分析等・生活交通の取組状況) <b>本日</b> 運行協議会
エリア②	運行協議会	運行協議会	1/31 運行開始	運行協議会	運行協議会	運行協議会	1/31 運行2年目	運行協議会	運行協議会	運行協議会	運行協議会	運行協議会	運行協議会	運行協議会	運行協議会	運行協議会
エリア③	運行協議会	運行協議会	運行協議会	6/28 運行開始	運行協議会	運行協議会	運行協議会	6/28 運行2年目	運行協議会	運行協議会	運行協議会	運行協議会	運行協議会	運行協議会	運行協議会	運行協議会

※ 運行計画等は、適宜、交通事業者等との協議。スケジュールは関係者協議等により変更となる可能性あり。

# 1.エリア③中央区・城南区 概要

## ○地理的状況 区域A (赤坂・草ヶ江・小笹・長尾校区)

・商業施設等が立地する幹線道路は低地にあり、戸建て住宅団地は高台等に立地し、坂道やバス停まで迂回を要する地域があるなど、特に高齢者等の買い物などの外出の困りごとになっている。



### ■地域の移動に関する困りごと

校区	地域の声
赤坂	・公共施設への移動が困難な地域がある ・高台の地域があり、通院や買い物が困難
草ヶ江	・高台やバス停まで20分以上かかる地域があり、通院や買い物の交通手段が必要
小笹	・高台が多く、車の運転ができなくなった高齢者などの通院や買い物が困難
長尾	・高台やバス停まで遠い地域があり、通院や買い物の交通手段が必要

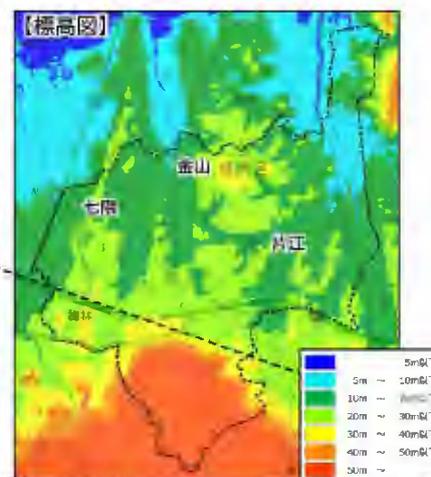
人口	56,264人	高齢化率 22.6%
面積	4.65km <sup>2</sup>	
地域の状況	一部地域でバス停等までの距離及び高低差あり	
運行内容	曜日別運行	

人口・高齢化率：16年3月末時点(出典：福岡市住民基本台帳)

# 1.エリア③中央区・城南区 概要

## ○地理的状況 区域B (片江・金山・七隈校区)

・商業施設等が立地する幹線道路は低地にあり、油山のふもとなどの戸建て住宅団地は高台等に立地し、道路が狭く、坂道での移動やバス停まで迂回を要する地域があるなど、特に高齢者等の買い物などの外出の困りごとになっている。



### ■地域の移動に関する困りごと

校区	地域の声
片江	・坂道が多く買い物や通院が困難
金山	・道路狭陰で坂道が多い地域では、買い物や通院が困難
七隈	・坂道が多く買い物や通院が困難

人口	33,284人	高齢化率 26.2%
面積	5.7km <sup>2</sup>	
地域の状況	一部地域でバス停等までの距離及び高低差あり	
運行内容	曜日別運行	

人口・高齢化率：16年3月末時点(出典：福岡市住民基本台帳)



## 2.運行概要

### (1)運行サービス (R7.3.31時点)

項目		内容
運行サービス	名称	チョイソコふくおか エリア③中央区・城南区
	運行区域	赤坂・草ヶ江・小笹・長尾・片江・金山・七隈校区
	停留所	区域A：73箇所（当初45箇所） 区域B：72箇所（当初32箇所）
	運行方式	フルデマンド方式 曜日別運行
	運行曜日	区域A：月・水・金曜日に運行 区域B：火・木・土曜日に運行 （運休：祝日・12月29日～1月3日）
	運行時間帯	8：00～18：00 ※内1時間は2回に分けてドライバー休憩時間あり
	予約方法	電話予約（コールセンター）、インターネット予約（LINE等）
	予約受付時間	電話予約受付：8:00-17:30、インターネット予約受付：24時間 【予約可能期間：乗車希望日の1週間前～20分前まで】
	運賃設定	300円/1乗車・人
	割引の有無・内容	有（障がい者※、小学生は半額の150円） ※障がい者手帳のコピーを会員登録時に送付要 ※障がい者の介護者は1名半額
	決済方法	現金、交通系IC、iD ※R5nから高齢者乗車券・福祉乗車券「チョイソコ乗車券」（紙券）が選択可
	使用車両・定員・導入方法	使用車両
乗車定員		5名（ドライバー1名、乗客4名まで）
導入方法		既存タクシー車両使用
運行開始	令和5年6月28日～	

## 2.運行概要

### (2)停留所

区域A(月・水・金曜日) 赤坂・草ヶ江・小笹・長尾校区 他

区域B(火・木・土曜日) 片江・金山・七隈校区 他



#### ■停留所設置数の推移

時点	停留所数	区域A・B別	
		住宅地等 停留所	ｽｸｰﾙ・ 停留所
運行開始	73	64	9
R7.3末	135	115	20
追加	+62	+51	+11

(区域A・B別)

時点	停留所数 全体	区域A・B別	
		住宅地等 停留所	ｽｸｰﾙ・ 停留所
R7.1.31			
区域A	73	62	11
区域B	72	58	14
※A・B重複	10	5	5
合計	135	115	20

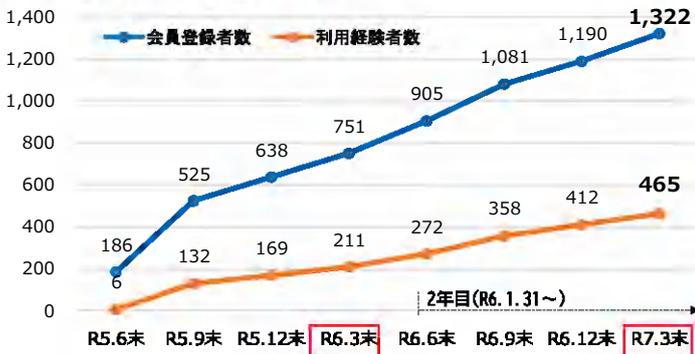
※運行開始以降、適宜、停留所を追加（計15回）

# 3. 会員登録及び利用状況

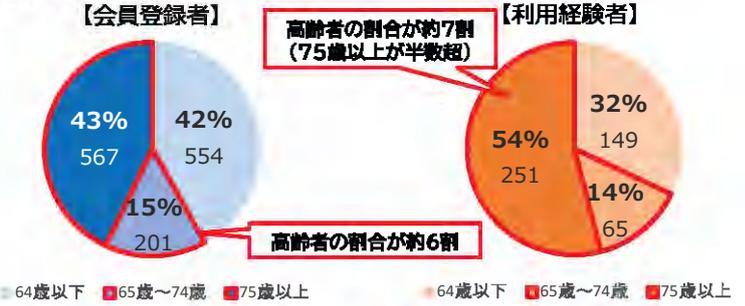
## (1) 会員登録者・利用経験者数 ※R7.3.31時点

- ・R7.3月末時点の会員登録者数は1,322人（前年同月比+571人）、利用経験者数は465人（前年同月比+254人）と、徐々に増加。
- ・年齢別の利用経験者は、高齢者の方の割合が約7割（うち75歳以上の方が半数超）を占める。

### ○エリア③中央区・城南区の推移



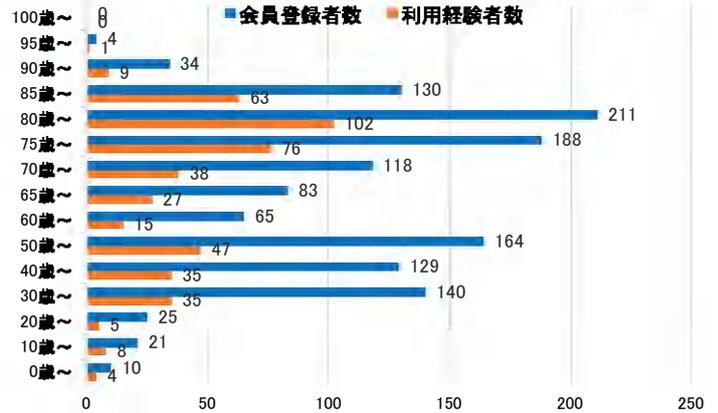
### ○年齢別（人）



### ○地区別（人）

地区	会員登録者数 A	利用経験者数 B	割合 B/A
赤坂	57	11	19%
草ヶ江	89	19	21%
小笹	419	129	31%
長尾	219	104	47%
片江	166	43	26%
金山	222	107	48%
七隈	150	52	35%
小計	1,322	465	35%
エリア①東区	1,730	780	44%
エリア②南区	1,269	498	39%
その他・不明含む	1,014	280	28%
合計	5,335	2,003	38%

※エリア①R4.11.24、エリア②R5.1.31、エリア③R5.6.28運行開始



# 3. 会員登録及び利用状況

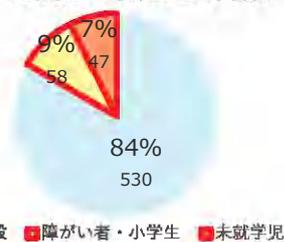
## (2) 利用者数（延べ） ※R7.3.31時点

- ・R7.3月は区域Aが月間延べ297人（前年同月比+86人）、1日当たり平均23人（前年同月比+5人）、区域Bが月間延べ338人（前年同月比+167人）、1日当たり平均28人（前年同月比+15人）の利用となった。
- ・利用目標達成（50人/日）には至っていないが、利用者は増加傾向。利用者のうち約1割が障がい者・小学生となっている。

### ○月間延べ利用者数の推移（人）



### ○R7.3月 月間延べ利用者の内訳（人）



### ○1日当たり平均利用者数の推移（人）



### 【利用者数】

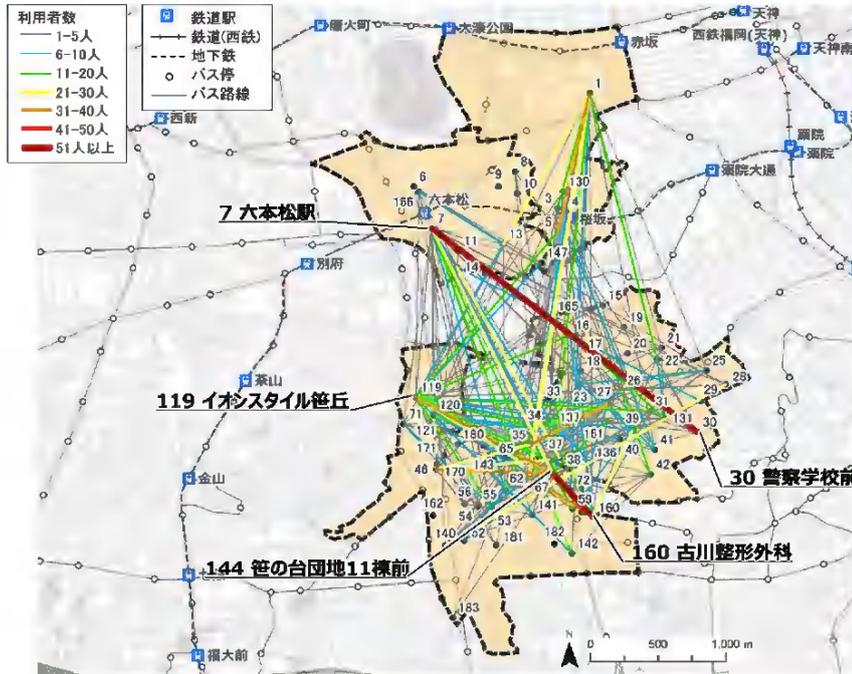
区域	月間延べ利用者数（人）		1日平均利用者数（人）		運行日数
	前月比	前月比	前月比	前月比	
R6.10	A	326 ▲15	27	▲4	12日
	B	305 28	22	▲1	14日
	合計	631 13	24	▲3	26日
R6.11	A	286 ▲40	24	▲3	12日
	B	241 ▲64	20	▲2	12日
	合計	527 ▲104	22	▲2	24日
R6.12	A	327 41	27	3	12日
	B	295 54	25	5	12日
	合計	622 95	26	4	24日
R7.1	A	299 ▲28	28	1	11日
	B	250 ▲45	21	▲4	12日
	合計	549 ▲73	24	▲2	23日
R7.2	A	278 ▲23	25	▲3	11日
	B	293 43	27	6	11日
	合計	569 20	26	2	22日
R7.3	A	297 21	23	▲2	13日
	B	338 45	28	1	12日
	合計	635 66	25	2	25日

### 3.会員登録及び利用状況

#### (3)その他利用状況 区域A (赤坂・草ヶ江・小笹・長尾校区) ※R7.1.31時点

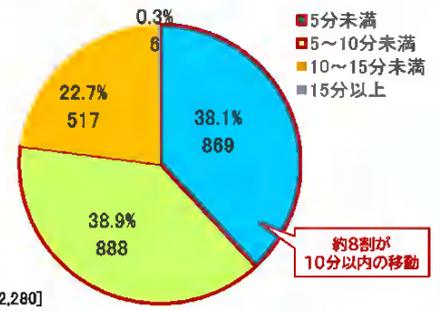
・自宅近くの停留所から六本松駅、病院、イオンスタイル笹丘などへの利用が多い。

##### ○移動の傾向 (OD図) ※R6.6.28~R7.1.31累計 (2年目)



	出発停留所	到着停留所	利用者数
1位	30_警察学校前	7_六本松駅	75
2位	7_六本松駅	30_警察学校前	70
3位	160_古川整形外科	144_笹の台団地11棟前	59
4位	144_笹の台団地11棟前	160_古川整形外科	49
5位	144_笹の台団地11棟前	119_イオンスタイル 笹丘 (区域A)	36
6位	144_笹の台団地11棟前	46_なかむら整形外科 (区域A)	34
7位	5_桜坂三丁目12番	1_中央市民センター	34
7位	67_笹の台団地4棟前 (中央階段下)	160_古川整形外科	32
7位	119_イオンスタイル 笹丘 (区域A)	144_笹の台団地11棟前	31
10位	27_小笹バス停南	35_サンリオン公園前	31

##### 【参考】利用ごとの所要時間 ※R6.6.28~R7.1.31累計 (2年目)

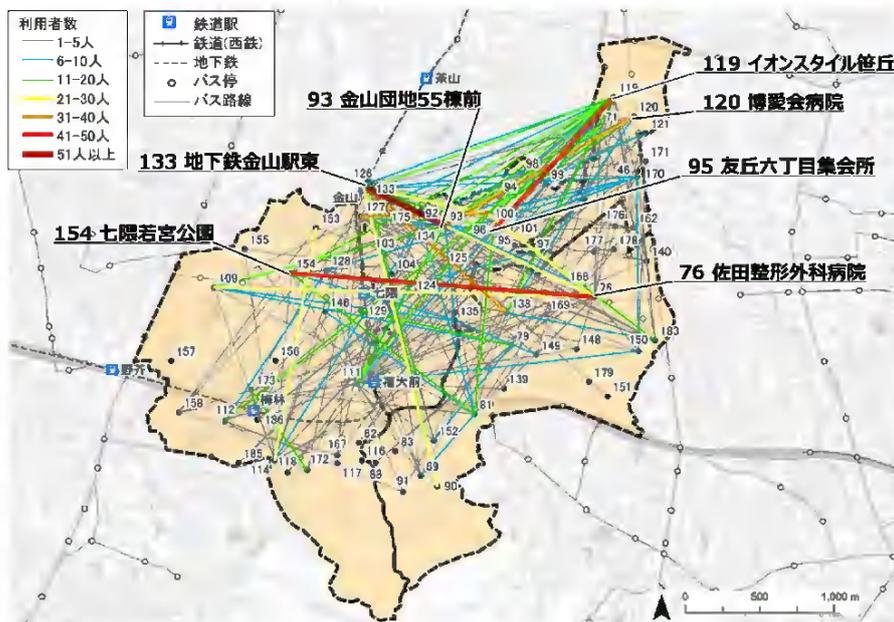


### 3.会員登録及び利用状況

#### (3)その他利用状況 区域B (片江・金山・七隈校区) ※R7.1.31時点

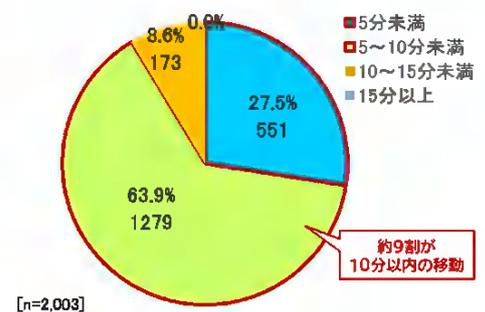
・自宅近くの停留所から金山駅、病院、イオンスタイル笹丘などへの利用が多い。

##### ○移動の傾向 (OD図) ※R6.6.28~R7.1.31累計 (2年目)



	出発停留所	到着停留所	利用者数
1位	133_地下鉄金山駅東	93_金山団地55棟前	50
2位	154_七隈若宮公園	76_佐田整形外科病院	46
3位	76_佐田整形外科病院	154_七隈若宮公園	39
3位	95_友丘六丁目集会所	119_イオンスタイル 笹丘 (区域B)	39
5位	93_金山団地55棟前	120_博愛会病院 (区域B)	38
6位	138_片江西丁目3番	133_地下鉄金山駅東	31
7位	100_友丘五丁目2番	127_金山団地入口	30
8位	133_地下鉄金山駅東	138_片江西丁目3番	29
9位	153_七隈二丁目9番	114_あらせ内科	27
10位	133_地下鉄金山駅東	76_佐田整形外科病院	26

##### 【参考】利用ごとの所要時間 ※R6.6.28~R7.1.31累計 (2年目)

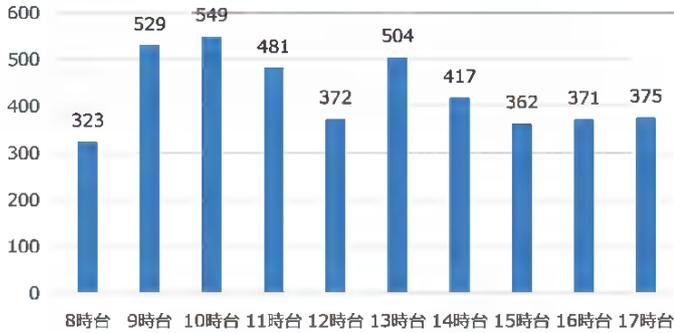


# 3. 会員登録及び利用状況

## (3) その他利用状況 ※R7.1.31時点

- ・時間帯別にみると、9時台、10時台、13時台の利用が多い。
- ・予約方法別にみると、電話予約が約7割、WEB予約が約3割を占める。
- ・R7.1月は、平均すると区域Aが約1.6人、区域Bが約1.4人が乗り合わせしている。
- ・曜日別の利用者数は、土曜日の利用が平日の約7割程度（区域B）。

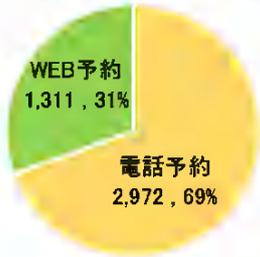
○時間帯別利用者数（人） ※R6.6.28～R7.1.31累計（2年目）



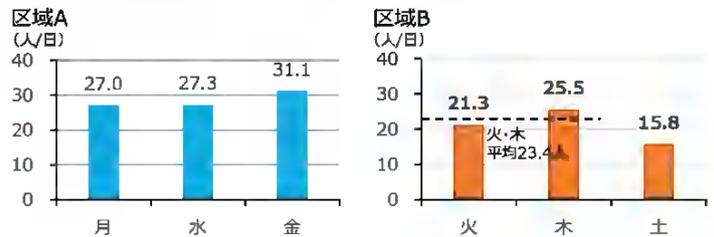
○乗合率 ※R6.6.28～R7.1.31



○予約方法別予約件数（件） ※R6.6.28～R7.1.31累計（2年目）



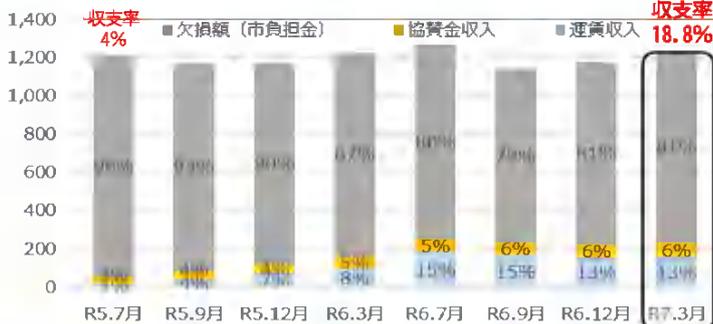
○曜日別の利用状況 ※R7.1月のみ



# 4. 収支状況

- ・収支率は、R7.3月時点で約19%と徐々に増加（改善）している。 ※年間収支率（1年目）は10.7%
- ・スポンサー数は徐々に増加しており、協賛金はR7.3月時点で約7万円。

## (1) 収支割合（R7.3.31時点）



R7.3月 収支率  
区域A: 16.9%  
区域B: 20.7%

利用者1人当たり 約1,600円  
※3月利用者数 635人

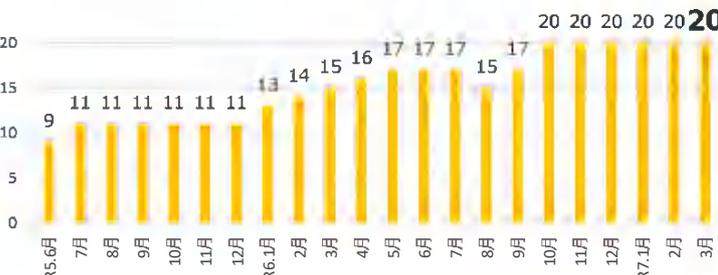
R7.3月実績	
市負担金	約100万円
収入	約123万円
協賛金	約7万円
運賃	約16万円
運行経費 (人件費、燃料油脂費、システム運用費など)	約123万円

※経費等は運行日数により変動  
※万円未満は四捨五入のため端数が合わない場合がある

エリア	年間 (1年目: R5.6～R6.6)
収支率	10.7%

## (2) スポンサー数（R7.3.31時点）

○スポンサー契約数の推移



○スポンサー契約の状況



# 5.アンケート調査結果

## (1)調査の目的・概要

○利便性向上等を図っていくため、取組み校区の住民(①)及び会員登録者(②)を対象に、アンケート調査を実施。

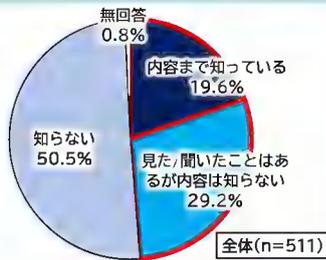
	①住民アンケート	②会員アンケート
主体	市	交通事業者(チョイソコグループ)
対象	福岡市中央区・城南区(赤坂・草ヶ江・小笹・長尾・片江・金山・七隈校区)在住の18歳以上の男女 合計2,000人(区域A・B 各1,000人) ※無作為抽出:非会員含む	チョイソコふくおかエリア③会員 1,190人 (調査票発行数:1,135世帯)
調査方法	郵送による配付・回収	チョイソコ通信(会報誌)に同封し郵送・回収
調査時期	令和6年12月27日～令和7年1月24日	令和6年12月27日～令和7年1月24日
有効回収数(率)	区域A:254サンプル 区域B:257サンプル 合計:511サンプル(21.4%)	区域A:146サンプル 区域B:115サンプル 合計:261サンプル(28.6%)

## (2)主な調査結果

### ○チョイソコに関する意見 ①住民アンケート

#### <認知度>

「内容まで知っている」が約2割、「見た/聞いたことはあるが内容は知らない」が約3割で、あわせると約5割を占める。



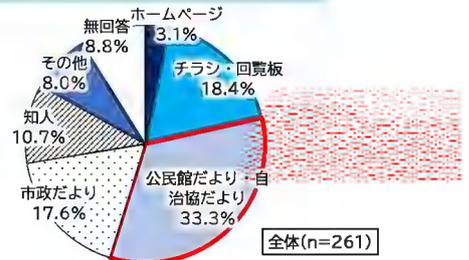
(1年目(R5))

内容まで知っている	12.2%
見た/聞いたことはあるが内容は知らない	26.7%
知らない	61.1%

### ○チョイソコに関する意見 ②会員アンケート

#### <知ったきっかけ>

「公民館・自治協だより」が約3割を占め、次いで「チラシ・回覧板」、「市政だより」が多い。



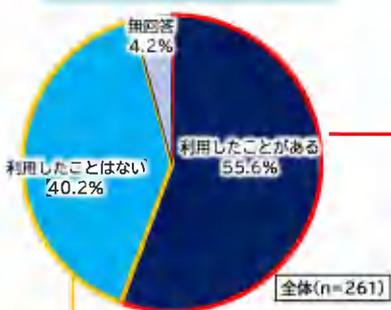
# 5.アンケート調査結果

## (2)主な調査結果

### ○チョイソコに関する意見 ②会員アンケート

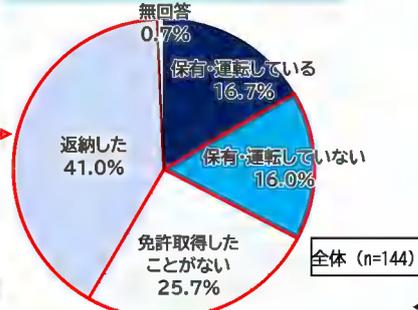
#### <利用の有無>

「利用したことがある」が6割、「利用したことがない」が約4割を占める。



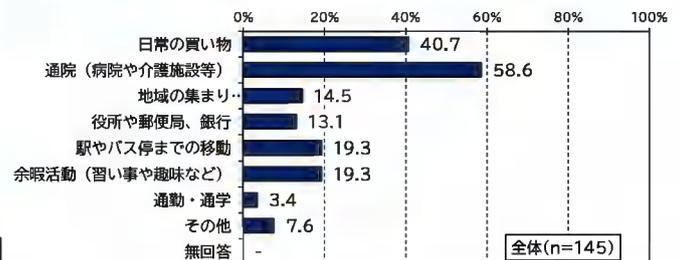
#### <利用有×免許保有>

利用経験者のうち、「運転していない」「免許取得したことがない」「返納した」の割合が、約8割を占める。



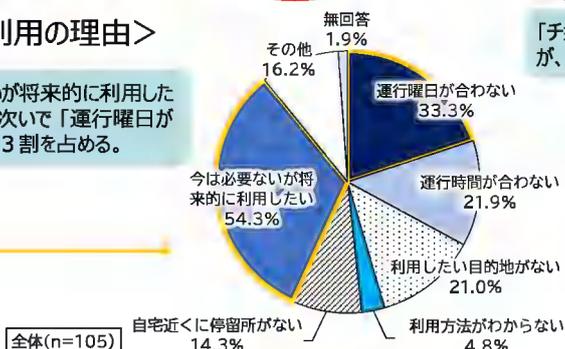
#### <チョイソコの主な利用目的>

「チョイソコふくおか」を利用したことがあると回答された方の利用目的としては、「通院」が約6割と最も多く、次いで「日常の買い物」(約4割)が多い。



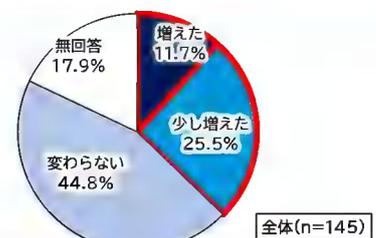
#### <未利用の理由>

「今は必要ないが将来的に利用したい」が約5割、次いで「運行曜日が合わない」が約3割を占める。



#### <外出頻度の変化>

「チョイソコふくおか」を利用したことがあると回答された方のうち、外出頻度が増えた方が、「増えた」(11.7%)、「少し増えた」(25.5%)と、約4割を占めている。



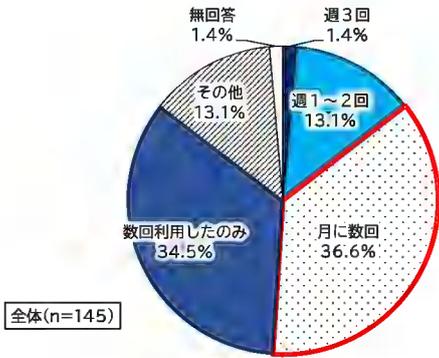
# 5.アンケート調査結果

## (2)主な調査結果

○チョイソコに関する意見 ②会員アンケート

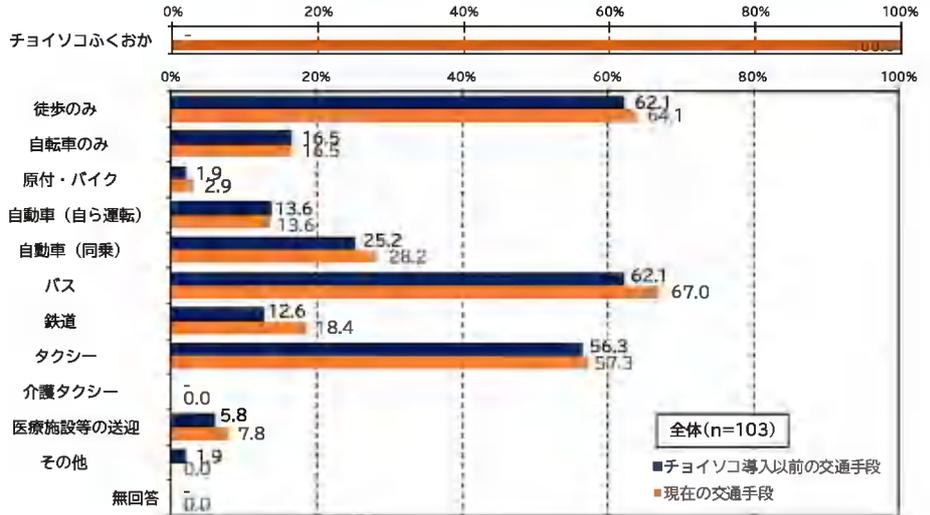
### <チョイソコの利用頻度>

「チョイソコふくおか」を利用したことがあると回答された方の利用頻度は、「月に数回」が約4割、「数回利用したのみ」が約3割、「週に1〜2回」が約1割を占める。



### <チョイソコ利用者の交通手段（チョイソコ導入前後）>

・日常生活（買い物、通院、通勤、地域の集まりなど）の外出にチョイソコを使用している方の、チョイソコ導入前後の交通手段を比較すると、「鉄道」が5.8%、「バス」が4.9%、「タクシー」が1.0%の増加となっている。  
 ・半数以上の方が、チョイソコと、バス・タクシーの既存の公共交通を併用している。



# 5.アンケート調査結果

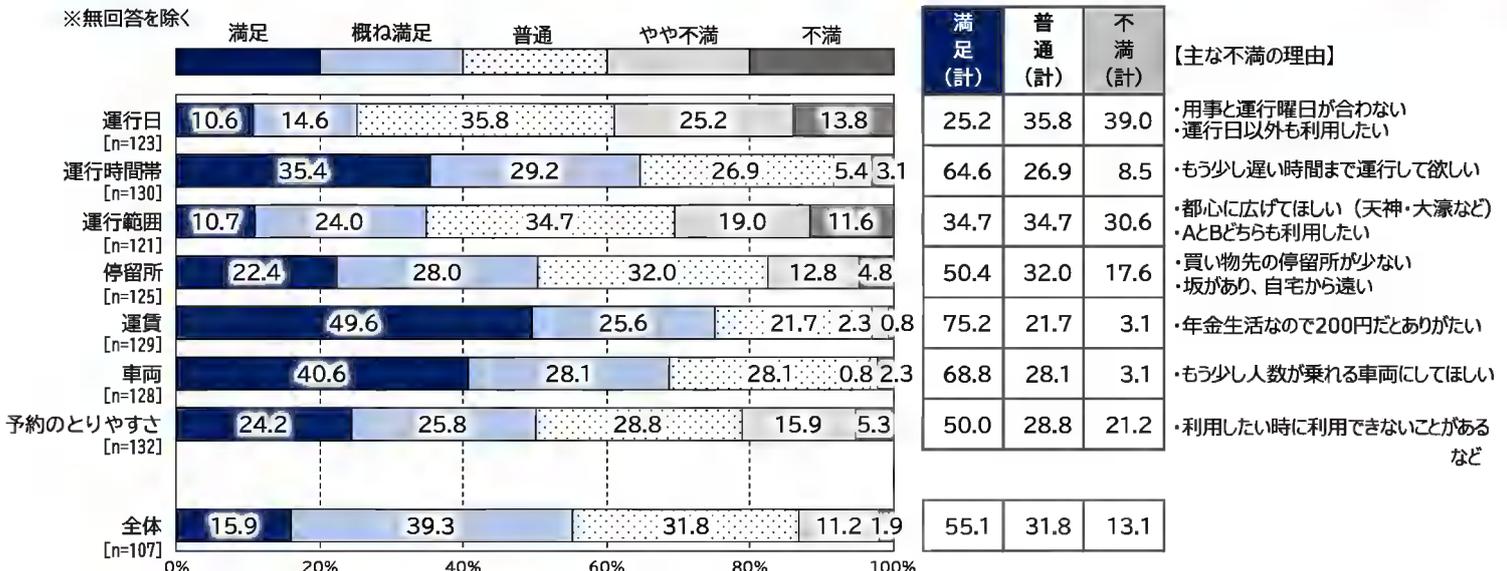
## (2)主な調査結果

○チョイソコに関する意見 ②会員アンケート

### <満足度>

・「チョイソコふくおか」を利用したことがあると回答された方に、「チョイソコふくおか」の評価について尋ねた。  
 ・「満足」と「概ね満足」を合わせた『満足（計）』の割合は、「運賃」で7割超、「車両」、「運行時間帯」で6割超を占める。また、「全体」では約6割となっている。  
 ・一方、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満（計）』の割合は、「運行日」で39.0%と最も高く、次いで、「運行範囲」で30.6%。また、「全体」では13.1%となっている。

※無回答を除く



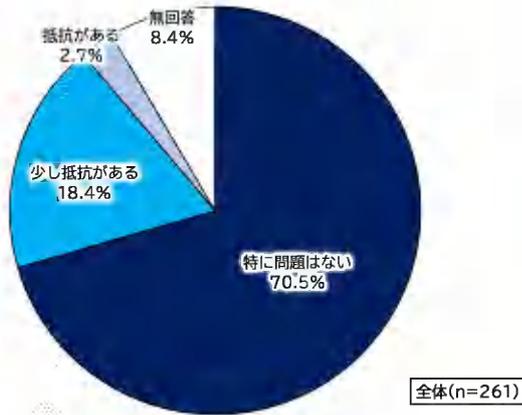
## 5.アンケート調査結果

### (2)主な調査結果

#### ○チョイソコに関する意見 ②会員アンケート

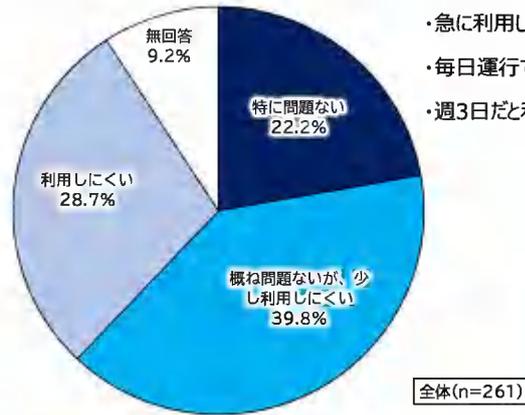
##### <他の乗客との乗合(相乗り)への抵抗感>

「特に問題はない」の割合が70.5%で最も多く、「少し抵抗がある」18.4%、「抵抗がある」が2.7%となっている。



##### <曜日別運行の受容性>

「特に問題はない」が約2割、「概ね問題ないが、少し利用しにくい」が約4割、「利用しにくい」が約3割となっている。



##### 【利用しにくい主な理由】

- ・用事と運行曜日が合わない
- ・急に利用したい時に運行していない
- ・毎日運行であれば更に利用しやすい
- ・週3日だと利用しづらい

## 6.ヒアリング結果

### (1)地域の主なご意見 (R7.1月下旬：各校区ヒアリング)

- 鉄道やバスは都心部へ行く時に利用し、チョイソコは高齢の方を中心に生活圏内の移動に利用されている。
- 公民館に停留所が設置され利用しやすくなり、チョイソコを利用して公民館に来る方（サークル活動など）が増えた。
- 運行開始時から比べると徐々に利用者が増えており、曜日別運行に慣れて浸透してきているのではないかと思います。  
曜日別運行だと予定（病院の診察日など）と合わないことがあるが、運行曜日を変えるのは、利用者が混乱すると思う。
- 運行日を増やしてほしいという意見があり、利用者がさらに増えてきたら、改めて平日運行（毎日）にできないか検討してほしい。  
毎日運行していると気持ちの部分でいつでも利用できるという安心感がある。
- チラシ配布等で周知を図っているが、まだこの取組みを知らない人はおり、地域に浸透するには時間がかかる。3年くらいは必要だと思う。
- 新規利用者の増加が重要だと思うが、1回目の利用につながるのが難しい。定期的なチラシの全戸配布や高齢者サロン等の集会で周知するなど、継続して認知度向上に取り組む。
- 高齢者を中心に利用されて、運開始時に比べると利用者も徐々に増えており、免許返納の後押しにもなると思うので、福祉的な面からもこの取組みを継続してほしい。

### (2)交通事業者の主なご意見 (R7.2月上旬：チョイソコグループヒアリング)

- 高齢者を中心に助かっているという声、この取組みを継続してほしいという声を受けている。
- 利用者からのお声掛けやスポンサー様からの紹介でスポンサーになりたいということもあるが、他エリアに比べると曜日で運行日数が限られていることもあり、スポンサー数が伸び悩んでいるという印象であり、引き続き取り組んでいきたい。
- 区域A・Bを跨いで移動したいとの声もあるが、運行エリアを広げる場合は回送時間が長くなるなどの課題があり、区域A・Bの現在の運行範囲は妥当と考えている。
- 曜日別運行は地域や利用状況に応じて運行日の検討が必要だと思うが、利用者は増加傾向にあり、車両1台でエリア①②の2倍の面積を運行できているので、効率的な運行につながるのではないかと思います。
- 認知度向上、利用促進、運賃外収入の確保などには、地域の取組みが不可欠で、三者共働で取り組むことが重要であると感じている。  
利用のきっかけづくりが重要で、LINEアプリの活用やポイントカードなどに取り組んでおり、利用状況等を確認したい。

## 7.まとめ

項目	①運行サービス
結果	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 会員（R7.3:1,322人（前年同月+571人））及び利用者（R7.3:区域A 23人/日（前年同月+5人/日）、区域B 28人/日（前年同月+15人/日））は、増加傾向にはあるが、利用目標（50人/日）の達成には至っていない。</li><li>➤ サービスは、「運賃」「車両」「運行時間」「停留所」「予約」の順で5割以上、「運行日」「運行範囲」で約3割が概ね満足と回答。（全体としては、概ね満足との回答が約6割であり、不満との回答は約1割。）</li></ul>
項目	②運営面
結果	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 利用者及びスポンサー停留所数（R7.3:20停留所）が徐々に増え、収支率は増加傾向。 R7.3:収支率19%、欠損（負担）額は約100万円/月（前年同月:収支率13%、欠損（負担）額は約107万円/月）。</li><li>➤ 認知度（内容まで知っている）は約2割に増加（前年:約1割）、「見た/聞いたことはある」をあわせると約5割。</li></ul>
項目	③地域住民のQOL
結果	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 外出機会が増えた方が約4割。</li></ul>
項目	④地域実需の適合性
結果	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 利用経験者の7割が高齢者（75歳以上が半数超）であり、通院や買い物先等への移動のための交通手段の一つとなっている。</li></ul>